

東京2020競技大会を皆さんで大成功に!

江戸川区推進プログラムの 主な取り組み

～区民が誇りを持ち、訪れる人々が憧れる
“江戸川区”を目指して～

区では、2020年における本区の姿、また、2020年以降の姿も見据えながら、「スポーツ」「教育」「文化・国際交流・おもてなし」「安全・安心」「まちづくり」の5つの柱を軸とした取り組みを総合的に推進し、大会の成功を目指します。また、大会開催が生み出す活気を地域社会のさらなる発展につなげていきます。

I スポーツ



- **学校カヌー教室** (27年度から)
区立小学校49校で実施し、4571人の児童が参加。
- **区民カヌー体験教室** (27年度から)
新左近川親水公園で41回実施し、1635人が参加。
- **えどがわカヌー塾** (28年度から)
安全にカヌーに乗る技術を習得するための教室。
新左近川親水公園で4回実施し、80人が参加。

- **カヌー大運動会** (29年9月実施)
カヌーに乗って競漕や玉入れ、綱引きなどの競技をスポーツランドで行いました。
- **江戸川区カヌー協会設立**
「カヌーのまち江戸川区」を目指して、区内で活動実績のあるカヌー愛好者団体を中心に、28年3月に設立されました。

II 教育



- **オリンピック・パラリンピアンによる講演・競技体験**
二之江第二小学校ではバレーボール元日本代表・山本隆弘さんを、清新第一小学校では車いすバスケットボール元日本代表・京谷和幸さんをそれぞれ招き、講演会を実施しました。このほかの各区立小学校でも同様の講演会を実施しています。

- **全区立小・中学校および幼稚園にオリンピック・パラリンピックコーナーを設置**
- **学習読本を活用したオリンピック・パラリンピック精神などの学習**



III 文化・国際交流・おもてなし



- **外国人おもてなし 語学ボランティア育成講座**
日本を訪れる外国人観光客などが安心して滞在できるよう、道案内などの手助けを行うボランティアを育成する講座です。今後の開催日程など詳しくは、区ホームページをご覧ください。



▲QRコード

● EDOGAWA 美味NAVI



訪日外国人向けに区内の美味しいお店を紹介する動画を毎月「YouTube」で配信中です。28年10月の配信開始から29年10月現在で39店舗を紹介しています。



▲QRコード

IV 安全・安心



- **防犯パトロールの強化・拡大**
457団体・約2万9000人(29年10月現在)の区民の皆さんが、より安全で安心なまちを目指して、防犯パトロール活動を続けています。また、警察と連携し、自転車盗ゼロ作戦をはじめ、さまざまな防犯キャンペーンを展開し、治安の向上に努めています。

● 競技会場周辺にある防災行政無線の増設および高性能化

カヌー・スラローム競技会場周辺の防災行政無線を1基から2基に増設を行うとともに、スピーカーを高性能化し、音達エリア向上と緊急時における放送を通じて、競技場周辺の安全・安心を図ります(30年度設置予定)。



V まちづくり



- **都市鉱山からつくる! みんなのメダルプロジェクト**
携帯電話などの小型家電から回収するリサイクル金属を東京2020大会のメダルに活用するプロジェクトです。29年6月から実施し、8月末現在で238人が参加しました。

- **多言語によるごみ分別表示の推進**
「資源とごみの出し方 基本ルール」とごみ集積所看板の表記を4カ国語(日本語・英語・中国語・韓国語)に対応しています。
- **外国からの来訪者にも分かりやすい道路案内標識(152基)の英語併記**
29年度から3カ年の計画で実施しています。



ホストタウンの取り組み

— オランダ & 江戸川区 —

とは?
ホストタウン

東京2020大会参加国との相互交流を図ることを目的に、地方自治体からの申請に基づき、国が「ホストタウン」として登録する仕組みです。

区は、オランダを相手国としてパラスポーツを通じた連携事業を中心とした交流計画を策定・申請し、29年7月にホストタウンとして登録されました。

Game Changerプロジェクト～パラスポーツが社会を変える～

パラスポーツを通じたオランダとの連携プロジェクトが始まります。今後、多くのオランダのパラアスリートや関係者が本区を訪れることとなります。



オランダ研修会

7月6日、駐日オランダ王国大使館でスポーツ推進委員などを対象に、「オランダを理解すること」を目的とした研修会を開催しました。オランダの生活、文化、国民性を学ぶとともに、実践を踏まえたオランダ語講座などを行いました。

オランダ給食

10月5日、清新ふたば小学校で給食の時間にオランダ料理を提供しました。

“舌をやけどするほどの熱さが長く続く”ことから名付けられたマッシュポテト「熱いなづま」など、普段食べ慣れない料理もありましたが、おかわりをする児童もいるほど好評で、オランダの食文化に触れるきっかけとなりました。

